

事業評価書

補助事業名	交通施設：市道小20194号線外2道路改良工事				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市飯前地内				
補助事業の成果の目標	<p>当路線は、飯前地区の住民が小川市街地へ向かう生活道路として利用されているとともに、災害時には小美玉市医療センターや消防本部と当地区を結ぶ非常に重要な道路となる。</p> <p>しかし、現道が狭隘なため、車両同士の離合が困難な状況にあり、さらに道路側溝が未整備であることから、大雨時には雨水が民地に入り、水たまりができてしまうことで住民の生活環境に支障をきたしている。</p> <p>これらを改善するため、現道の拡幅及び道路側溝の整備を行い、交通の安全性の確保及び地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】対象地区（飯前地区）人口／世帯数：1,059人／390世帯 （平成29年4月1日現在）</p>				
補助事業の内容	道路改良工事 L=200m W=4.0m/6.2m				
補助事業の始期及び終期	平成21年度から平成30年度				
事業費及び交付金額		28年度以前	29年度	30年度以降予定	計
	事業費	円 194,067,837	円 25,369,200	円 39,000,000	円 258,437,037
	交付金額	円 182,920,000	円 20,000,000	円 37,000,000	円 239,920,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 当路線の一部区間で供用を開始した。地元区長に対して意見を聴取したところ、見通しが良くなったおかげでスムーズに通行できるようになり、側溝の整備により宅地や畑に雨水が流れ込まなくなったとのことで交通の安全性の確保及び地域住民の生活環境の向上が図られたと考える。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が交付金を活用した事業である旨を、 ①地区回覧により周知 ②工事期間中、工事看板に記載 ③市ホームページに掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	交通施設：市道小108号線外1道路改良工事				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市山野地内				
補助事業の成果の目標	<p>当路線は、川戸地区及び山野地区の住民が野田小学校や小川市街地へ向かう生活道路として利用されているとともに、災害時には小美玉市医療センターや消防本部と当地区を結ぶ非常に重要な道路となる。</p> <p>しかし、現道が狭隘なため、車両同士の離合が困難な状況にあり、さらに道路側溝が未整備であることから、大雨時には雨水が民地に入り、水たまりができてしまうことで住民の生活環境に支障をきたしている。</p> <p>これらを改善するため、現道の拡幅及び道路側溝の整備を行い、交通の安全性の確保及び地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 対象地区（川戸地区及び山野地区）人口／世帯数：3,023人／1,153世帯 （平成29年4月1日現在）</p>				
補助事業の内容	道路改良工事 L=320m W=4.0m				
補助事業の始期及び終期	平成28年度から平成30年度				
事業費及び交付金額		28年度以前	29年度	30年度以降予定	計
	事業費	円 40,672,800	円 47,984,400	円 37,000,000	円 125,657,200
	交付金額	円 36,000,000	円 45,000,000	円 36,000,000	円 117,000,000
補助事業の成果及び並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 当路線の一部区間で供用を開始した。地元区長に対して意見を聴取したところ、見通しが良くなったおかげでスムーズに通行できるようになり、側溝の整備により宅地や畑に雨水が流れ込まなくなったとのことで交通の安全性の確保及び地域住民の生活環境の向上が図られたと考える。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が交付金を活用した事業である旨を、 ①地区回覧により周知 ②工事期間中、工事看板に記載 ③市ホームページに掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	交通施設：市道小21102号線歩道整備工事				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市飯前地内				
補助事業の成果の目標	<p>当路線は、飯前地区の住民が上吉影小学校、小川北中学校、小川市街地へ向かう生活道路として利用されているとともに、災害時には小美玉市医療センターや消防本部と当地区を結ぶ非常に重要な道路である。</p> <p>しかし、現道には歩道が未整備であるため、特に上吉影小学校や小川北中学校への通学時における交通事故の危険性が高いことから、新たに歩道を整備することにより、通学時の安全性を図る。</p> <p>【参考指標】対象地区（飯前地区）人口／世帯数：1,059人／390世帯 （平成29年4月1日現在）</p>				
補助事業の内容	歩道整備工事 L=612m W=2.5m				
補助事業の始期及び終期	平成20年度から平成29年度				
事業費及び交付金		28年度以前	29年度	30年度以降予定	計
	事業費	円 154,814,289	円 23,144,400	円 0	円 177,958,689
	交付金額	円 143,900,000	円 20,000,000	円 0	円 163,900,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 当路線の一部区間で供用を開始した。地元区長に対して意見を聴取したところ、歩車道分離により児童等が危険無く安全に通行しているとのことで、通学時の安全性が図られたと考える。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が交付金を活用した事業である旨を、 ①地区回覧により周知 ②工事期間中、工事看板に記載 ③今後、市ホームページに掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	交通施設：市道小10742号外2道路改良工事				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市中延地内				
補助事業の成果の目標	<p>当路線は、中延地区の住民が小川地区市街地へ向かう生活道路として利用されているとともに、県道玉里水戸線と市道小201号線を結ぶ道路でもある。</p> <p>しかし、現道は全線にわたり狭隘なため、車両同士の離合が困難な状況であり、さらに道路側溝が未整備であることから、大雨時には雨水が民地に入り、水たまりができてしまうことで住民の生活環境に支障をきたしている。</p> <p>よって、これらを改善するため、現道の道路拡幅及び道路側溝の整備を行い、交通の安全性の確保及び地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】対象地区（中延地区）人口／世帯数：1,413人／559世帯（平成29年4月1日現在）</p>				
補助事業の内容	用地補償・物件補償 A=395.72m ² 道路改良工事 L=280.0m W=3.0/4.6m				
補助事業の始期及び終期	平成21年度から平成32年度				
事業費及び交付金		28年度以前	29年度	30年度以降予定	計
	事業費	97,429,814 円	48,847,896 円	50,664,754 円	196,942,464 円
	交付金額	85,800,000 円	43,800,000 円	46,000,000 円	175,600,000 円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 当路線においては、平成29年度より工事に着手している。供用開始後、地元区長に対して意見を聴取する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ①本事業が交付金を活用した事業である旨を、地区回覧により周知。 ②工事期間中、工事看板に記載。 ③市ホームページにに掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	交通施設：市道小10371号線外1道路改良工事				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市野田地内				
補助事業の成果の目標	<p>当路線は、野田地区の住民が野田小学校や小川市街地へ向かう生活道路として利用されているとともに、災害時には、小美玉市医療センターや消防本部と当地区を結ぶ非常に重要な道路である。</p> <p>しかし、現道が狭隘なため、車両同士の離合が困難な状況にあり、さらに道路側溝が未整備であることから、大雨時には雨水が民地に入り、水たまりができてしまうことで住民の生活環境に支障をきたしている。</p> <p>これらを改善するため、現道の拡幅及び道路側溝の整備を行い、交通の安全性の確保及び地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】対象地区（野田地区）人口／世帯数：2,572人／981世帯 (平成29年4月1日現在)</p>				
補助事業の内容	道路改良工事 L=160m W=4.0m/6.2m				
補助事業の始期及び終期	平成23年度から平成30年度				
事業費及び交付金額		28年度以前	29年度	30年度以降予定	計
	事業費	円 99,244,802	円 23,284,800	円 35,000,000	円 157,529,602
	交付金額	円 92,700,000	円 20,000,000	円 30,000,000	円 142,700,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 当路線の一部区間で供用を開始した。地元区長に対して意見を聴取したところ、見通しが良くなったおかげでスムーズに通行できるようになり、側溝の整備により宅地や畑に雨水が流れ込まなくなったとのことで交通の安全性の確保及び地域住民の生活環境の向上が図られたと考える。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が交付金を活用した事業である旨を、 ①地区回覧により周知 ②工事期間中、工事看板に記載 ③市ホームページに掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	交通施設：市道小30225号線外2道路改良工事				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市下吉影地内				
補助事業の成果の目標	<p>当路線は、下吉影地区の住民が下吉影小学校や小川市街地へ向かう生活道路として利用されているとともに、災害時には、小美玉市医療センターや消防本部と地域集落を結ぶ非常に重要な道路となる。</p> <p>しかし、現道は全線にわたり狭隘なため、車両同士の離合が困難な状況であり、さらに道路側溝が未整備であることから、大雨時には雨水が民地に入り、水たまりができてしまうことで住民の生活環境に支障をきたしている。</p> <p>また、現道には歩道が未整備であるため、特に下吉影小学校への通学時における交通事故の危険性が高い。</p> <p>これらを改善するため、現道の道路拡幅及び道路側溝の整備を行い、交通の安全性の確保及び地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】対象地区（下吉影地区）人口／世帯数：1,106人／489世帯 (平成29年4月1日現在)</p>				
補助事業の内容	道路改良工事 L=331m W=5.5/9.6m				
補助事業の始期及び終期	平成20年度から平成29年度				
事業費及び交付金		28年度以前	29年度	30年度以降予定	計
	事業費	円 294,240,017	円 117,190,800	円 0	円 411,430,817
	交付金額	円 276,150,000	円 100,790,000	円 0	円 376,940,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 当路線の一部区間で供用を開始した。地元区長に対して意見を聴取したところ、見通しが良くなったおかげでスムーズに通行できるようになり、側溝の整備により宅地や畑に雨水が流れ込まなくなったとのことで交通の安全性の確保及び地域住民の生活環境の向上が図られたと考える。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 本事業が交付金を活用した事業である旨を、 ①地区回覧により周知 ②工事期間中、工事看板に記載 ③市ホームページに掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	消防に関する施設：耐震性貯水槽設置				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市野田 外1箇所				
補助事業の成果の目標	<p>本市の旧小川町は、旧美野里町や旧玉里村に比べ、消火栓や防火水槽等の消防水利の整備が未だ不十分な地域である。</p> <p>旧小川町では、平成24年1月に10棟が全焼、4棟が部分焼となる火災が発生し、1名の焼死者を出した。また、東日本大震災時には、火災発生が1件で大惨事に至らなかったが、断水の影響で消火栓が使用できない状態となった。</p> <p>そこで、先般の東日本大震災や今後想定されている首都直下型地震等の予期せぬ災害に備え、消火活動に必要な水源を確保するために、耐震性貯水槽を整備し、住民が安心して安全な暮らしができる環境に寄与することを目標とする。</p> <p>【参考指標】整備地区の人口／世帯数 : 鷺沼地区 533人／214世帯 貝谷地区 158人／57世帯 (H29.4.1現在)</p>				
補助事業の内容	平成28年度 実施設計 平成29年度 工事2基				
補助事業の始期及び終期	平成28年度から平成31年度				
事業費及び交付金		28年度以前	29年度	30年度以降予定	計
	事業費	円 3,466,800	円 12,873,600	円 24,710,000	円 41,050,400
	交付金額	円 3,100,000	円 12,000,000	円 22,200,000	円 37,300,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 野田鷺沼、下吉影貝谷地区における耐震性貯水槽の整備が完了した。各地元区長に対して意見を聴取したところ、耐震性貯水槽が整備されたことにより、住民が安心して安全な暮らしができる環境が図られたと考える。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 工事看板、地区回覧、防火水槽の標識（支柱）に調整交付金事業である旨記載をした。また、市ホームページ及び広報紙に掲載をした。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	交通施設:小美玉市道路整備基金(市道小10911号線道路改良事業)									
補助事業者名	小美玉市長									
実施場所	小美玉市上吉影地内外									
補助事業の成果の目標	<p>当路線は、上吉影、佐才、世楽の3地区と既設市道を結ぶ幹線道路である。 上記の既設市道沿いには、学校、文化施設等の公共施設や商業施設があるが、上記の地区から行くには迂回するしかなく、当路線の整備により、これら施設へのアクセス性を良くすることで、地域住民の生活環境の向上を図るものである。</p> <p>【参考指標】対象地区(上吉影地区)人口/世帯数 :555人/202世帯 (佐才地区) 人口/世帯数 :647人/230世帯 (世楽地区) 人口/世帯数 :481人/222世帯 (平成29年4月1日現在)</p>									
補助事業の内容	道路改良工事 L=367.1m W=6.0m									
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成23年度から平成31年度 基金の処分:平成24年度から平成32年度									
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)					基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額		
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益				計	
		円	円	円	円	円	円	円	円	円
	23	134,000,000				134,000,000	0	134,000,000	0	
	24	151,000,000				151,000,000	38,582,000	246,418,000	38,582,683	
	25	122,000,000				122,000,000	173,446,000	194,972,000	173,446,625	
	26	83,343,000				83,343,000	132,519,000	145,796,000	132,519,043	
	27	89,021,000				89,021,000	45,303,000	189,514,000	45,304,449	
	28	58,322,000				58,322,000	95,744,000	152,092,000	95,744,120	
29	43,176,000				43,176,000	85,266,000	110,002,000	85,266,000		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 本工事が完了したことにより、一部区間で供用を開始した。地元区長に対して意見を聴取したところ、買い物に出かけるときも、目的地まで時間をかけず、スムーズに行けるようになったことと地域住民の生活環境の向上を図られたと考える。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 本事業が交付金を活用した事業である旨を、 ①地区回覧により周知 ②工事期間中、工事看板に記載 ③市ホームページに掲載</p>									
事業の改善措置及び今後の対応	無									
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無									

事業評価書

補助事業名	福祉に関する事業：小美玉市公共用バス整備基金									
補助事業者名	小美玉市長									
実施場所	小美玉市内									
補助事業の成果の目標	<p>現在、小美玉市では地域住民の社会福祉活動の一助として市が所有する公共用バスを利用する事業等を行う各種団体に貸し出している。</p> <p>当市の公共用バスは、既に10年以上を経過しており、総走行距離も20万km以上であることから、修理や部品交換が年々多くなっており、また安全対策の面からも懸念される状況である。</p> <p>そこで、常に万全な車両で貸し出すことができるよう、現有車両を修理、点検、更新することで、円滑な社会福祉活動の一助として支援ができる環境の確保を図る。</p> <p>【参考指標】 平成28年度公共用バス利用団体/利用日数（4月～2月までの実績） 延べ389団体/延べ413日 （3月見込み）延べ24団体/延べ24日</p>									
補助事業の内容	市が所有する公共用バスの修繕及び更新									
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成25年度から平成36年度 基金の処分：平成26年度から平成36年度									
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)					基金処分額 (B)	基金残額 (A)-(B)	継続事業に要した額		
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益				計	
		円	円	円	円	円	円	円	円	
	25	8,900,000				8,900,000		8,900,000		
	26	8,000,000				8,000,000	8,586,000	8,314,000	8,586,000	
	27	20,000,000				20,000,000	1,068,000	27,246,000	1,069,264	
28	9,680,000				9,680,000	1,309,000	35,617,000	1,309,674		
29	6,000,000				6,000,000	2,550,000	39,067,000	2,557,885		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 利用対象である各種団体に順調に活用されている。 利用団体にアンケート等調査を行った結果、「スケジュールを変更することなく希望した日時にバスを借りることができた」「時間どおりに目的地まで連れて行ってくれる」「バスが利用できることにより事業バリエーションが広がる」「集団で移動できるためより充実した交流事業が展開できる」等の声が挙がっており好評である。このことから当事業により、円滑な社会福祉活動の一助として支援ができる環境を確保できたものと考えている。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 ①バス側面にステッカーを貼り、車内にも掲示 ②市ホームページに掲載</p>									
事業の改善措置及び今後の対応	無									
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無									

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者期間の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業：小美玉市教育活動支援基金								
補助事業者名	小美玉市長								
実施場所	小美玉市内								
補助事業の成果の目標	<p>現在、小美玉市立小中学校では、部活動における各種大会や授業の一環としての自然教室等の各種教育活動における児童・生徒の移動手段として、その都度民間バスを借上げるにより、移動手段を確保しているところである。</p> <p>このような教育活動は、児童・生徒の豊かな心と個性・創造性を育む教育の推進及び地域の特色を活かした教育を展開するために必要としているものであり、当事業を行うことにより、児童・生徒が安定的かつ円滑に教育活動に参加できる環境の確保を図る。</p> <p>【参考指標】 平成26年度の上記バス借上げの延べ件数／延べ日数／利用人数： 延べ343件／延べ295日／4,388人</p>								
補助事業の内容	自然教室、音楽のつどい等の事業において児童・生徒の参加を必要とする事業に伴う自動車借上								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成27年度から平成33年度 基金の処分：平成28年度から平成37年度								
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	27	30,000,000				30,000,000		30,000,000	
28	0				0	4,680,000	25,320,000	4,681,260	
29	0				0	4,040,000	21,280,000	4,040,855	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 各学校の教職員等にアンケートを実施したところ、16校全てから、バスを借上げることで児童・生徒が教育活動に参加できる環境が確保できているとの回答があったため目標は達成したと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 ①学校だよりにより周知 ②市ホームページに掲載</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								